

求人のお知らせ

共に働き、地域に貢献し、愛される
病院作りに携わってみませんか？

【募集職種】

看護師

看護補助者（常勤・パート）

看護学生奨学金制度

将来、看護師を目指す学生さんを応援します

当院では、看護学校へ進学を志し、将来看護師を目指す
意欲を持つ学生を応援しております。次世代の急性期に
おけるチーム医療を担う人材として、当院の奨学金制度を
ぜひご活用ください。詳細はお問い合わせください。



幸ハウス

（大切にしたいものを大切にする場）
毎週水曜日 10時～16時 / 無料&予約不要

- ☑ がんの患者さんが気軽に訪れて専門家にこれからのことを相談できる場所です。
- ☑ 緩和ケア病棟に入所する前から、利用できます。
- ☑ 患者さんご本人だけでなく、ご家族やご友人も一緒に利用できます

場所：川村病院の隣、三角の建物

お問い合わせ：sachihouse.gift@gmail.com

外来診療日・診療時間

診察時間 8:30～11:30 / 15:30～17:00

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	×	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	△	×

ご予約は診察時間内にお電話にて承っております。

※土曜日の午後は特定疾患外来となっております。（要予約）

※木曜日・日曜日・祝日は休診です。

※毎月第1・第3火曜日は2次救急医療を受付けています。

病院までのご案内



JR 身延線【堅堀駅】より徒歩10分

JR 東海道線、身延線【富士駅北口】より徒歩約15分

JR 東海道線【富士駅】よりタクシー約5分

東名高速道路【富士インターチェンジ】より12分

富士駅発 ひまわりバスで【川村病院前】下車

駐車場70台

 医療法人社団 秀峰会 川村病院

〒416-0907 静岡県富士市中島327番地

<http://kawamura-jp.jp/wp/>

Tel 0545-61-4050

医療法人社団 秀峰会

川村病院

～診断から治療、そして看取りまで～

病院理念

自分・家族が受けたい医療の実践
患者様の人権を尊重した医療の実践
地域に密着した医療活動の実践



患者様の視線で、病院をつくる 患者様に負担の少ない医療

川村病院は、昭和39年から今日までこの地で、皆さまのことを思い、医療活動が続けてまいりました。

近年「高齢化」が進み、「情報」が氾濫する現代社会において、医療に求められる形は大きく変化してきています。

医療においては、積極的に内視鏡治療、腹腔鏡手術、乳房温存手術を導入し、患者様に負担の少ない治療を常に心がけています。

胃癌、大腸癌は早期に発見すれば、お腹を切ることなく根治を望むことができます。当院では現在、胃癌、大腸癌の約半数を内視鏡手術で、手術が必要な場合でも、約8割以上を腹腔鏡手術で治療しており、これは県下トップクラスの数字です。

また、退院後も患者様が住み慣れた環境で快適な療養生活を送れるよう訪問看護も提供し、強化型在宅支援病院として取り組み、充実した医療サービスを実践してゆきます。

しかしながら病院はこれで完成というわけではありません。当院は最新医療機器を導入して医療の高度化を図るばかりでなく、患者様に院内で少しでも快適に過ごして頂くために、バリアフリーは勿論のこと、常に明るい気持ちで過ごされるよう、採光や色彩までも考慮しました。

患者様の視線をいつも意識し、少しでも快適な医療をこれからもずっと作り続けてゆきます。

どうぞ今後もご指導くださいますようお願い申し上げます。



理事長
川村 統勇
かわむら むねお

【学歴】昭和46年東京慈恵会医科大学卒業
【経歴】東京慈恵会医科大学第2外科
同大学・内視鏡部客員教授
【専門】消化器外科・消化器内視鏡
【資格】日本内視鏡学会指導医
日本内視鏡学会専門認定医
日本外科学会指導医
日本消化器外科学会認定医



院長
川村 武
かわむら たけし

【学歴】昭和48年東京慈恵会医科大学卒業
【経歴】国家公務員共済組合連合会
虎の門病院外科レジデント
虎の門病院消化器外科主任医員
【専門】消化器外科・外科
【資格】日本外科学会指導医
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会指導医
日本消化器外科学会認定医・内視鏡治療
消化器がん外科治療認定医
マンモグラフィー読影認定医

病院紹介

診療科目

外科 | 内科 | 消化器内科・外科 | 乳腺外科 | 肛門外科
整形外科 | 麻酔科 | 緩和ケア内科 | 腫瘍精神内科

診療体制

- 救護病院 ●救急告示病院 ●病院機能評価認定病院
- 日本外科学会専門医制度関連施設 ●日本乳癌学会関連施設
- 日本消化器病学会関連施設 ●日本大腸肛門病学会関連施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本緩和医療学会（緩和ケアチーム登録）
- 許可病床数：76床

- 当院は、消化器病、乳腺疾患を中心とした地域密着型病院です。
- 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、肝臓内科、緩和ケア、腫瘍精神科内科による専門外来を行っております。
- 化学療法は、最新のガイドラインに基づいて行っております。
- 癌の終末期医療は、訪問看護を介し、継続して在宅でも行っております。



手術

- 手術は主に全身麻酔手術を月・火・水・金曜日の午後、腰椎麻酔手術を毎日行っています。
- 主な疾患は胃癌、大腸（結腸・直腸）癌、膵癌、胆嚢癌などの消化器癌、乳癌などの悪性疾患と虫垂炎、胆石症、痔核・痔瘻などの肛門疾患、鼠径ヘルニアといった良性疾患を扱っています。
- 痔核治療は切除する根治手術以外にも内痔核四段階注入硬化療法（ALTA療法）を施行しており患者様の負担軽減を図っています。
- 直腸脱、鼠径ヘルニアは従来の経肛門手術、前方アプローチだけでなく腹腔鏡下直腸つり上げ固定術、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）にも対応できるようになりました。

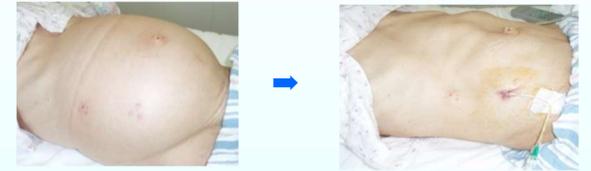
KM-CART 腹水濾過濃縮再静注法を導入しています

癌の進行(癌性腹水)や肝硬変(肝性腹水)などで腹腔内に腹水が貯まることがあります。腹水が貯留すると腹部の膨満や苦痛を伴い、また下肢浮腫、腎機能障害なども併発します。

腹水を抜くことで腹水貯留に伴う症状の緩和、抜いた腹水から癌細胞などの有害な物質を濾過し、体に必要な蛋白成分(アルブミン、グロブリン)を濃縮後、静脈内に再度戻す方法です。

症状の緩和により抗癌剤治療の再開や食事摂取の改善が期待できます。KM-CARTは従来のCARTよりシンプルで操作も簡便、短時間で多くの腹水の処理を可能とした方法です。

当院では担当医師、看護師がCART研究会にて研修・指導を受け十分な経験症例を経て中部地方初の認定施設となっております。



▶ KM-CART 研究会認定施設

